

2025 年 3 月 28 日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

下肢閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療における MRI 石灰化イメージの有用性に関する検討

### 2. 研究責任者

海南病院循環器内科 西村和之

### 3. 研究の概要

下肢閉塞性動脈硬化症に対してカテーテル治療を行う際、術前に下肢血流の評価と血管性状の評価(石灰化の有無や血管径など)を行う必要がある。当院では主に非造影の下肢 MRA(magnetic resonance angiography)を用いて下肢血流の評価を行い、血管性状の評価には単純 CT 検査を用いている。しかし近年 MRI で動脈硬化性プラークや石灰化を描出する方法論が研究され、血管性状に関する情報も MRI 検査で得られる可能性が出てきている。本研究では下肢 MRA 撮影時に血管性状評価目的の撮像法(石灰化イメージ)を追加し、単純 CT 検査やカテーテル治療中の血管内超音波検査(IVUS)イメージと比較検討する事で、MRI による血管性状評価の正確性や妥当性を評価し、最終的には MRI 検査のみによる EVT 術前評価システムの確率を目標とする。

2022 年 11 月から 2024 年 10 月まで行った MRI 石灰化イメージの臨床研究において、MRI の石灰化描出能が優れていることが示唆されたため、今回期間を延長して追加の臨床研究を行う方針とした。

### 4. 研究方法

#### ①対象となる患者さん

当院で下肢閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療を受ける患者さん

#### ②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：下肢 MRA、MRI、CT 検査およびカテーテル検査時の画像データや採血検査データ、ABI(ankle brachial index)などの生体検査データなどを使用する。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 循環器内科 西村和之

電話：0567-65-2511（代表）